



元気なコミュニティだより



二宮町百合が丘 2-29-6(老人憩いの家)

<https://gen-comi.jp>

ゲンコミを引っ張る

一役員・部会長メッセージ

再生協議会の継承と新規展開。町内のどこにも前例のない新団体、一色小学校区元気なコミュニティ協議会(ゲンコミ)が立ち上がりました。まず、何を、どうしようとしているのか—中心役員と事業部会長に意気込みを綴ってもしました。



会長 廣上正市

3年で勝負

合唱団は会費の値上げがあつたにもかかわらず 60 名が参加し、生涯学習講座の 4、5 月企画には定員を上回る申し込みがありました。再生協議会を継承したゲンコミは、まずは順調なスタートです。国・町のバックアップがあつた再生協とは違い、ここからは全くの自立活動。行政から自治会など地域に軸足を置いた特異な集団です。これが、「元気なコミュニティづくり」という大きなテーマに対し、どんな役割を果たせるのか。みんなが注目しています。未踏の世界を切り開いていく自信はありませんが、ともかく地道に、楽しくトライして行きます。目標期間は 3 年。結果が付いてこなければ、解体するのみ。そんな決意で臨んでいます。

生涯学習部会 山本正博

広範なテーマで

好奇心旺盛な町民に、「こうりゅう塾」という学び、交流の場を用意し、コミュニティづくりに役立ちたい—そんな想いを形にするのが、新スタートの生涯学習部会です。4 月から「月 2 ペース」で開催していますが、毎回定員いっぱいの申し込みをいただいています。部会員はテーマの設定、講師依頼、開催日時や会場設営など、各回ごとに町民の皆様から評価されることを意識しつつ準備に当たっています。歴史・文化、健康・福祉、子ども・教育、暮らし・生活・防災、町づくりなど、皆様が関心を持つ広範なテーマを取り上げて行きます。テーマや講師についてのご提案を歓迎します。



地域と学校部会 関口正美 地域も学校も高まる

地域と学校の連携、協働活動で双方が高まることを目的につくりました。その地域側の窓口として、一色小コミュニティスクール推進委員の橋本由恵さんらとは、①協働活動に向けてスキルのある方を探し、紹介する②地域の知恵やノウハウを子供たちに伝え、授業にも手伝える事があれば協力する—などを考え中です。今のところ、特に部会員を定めることなく、要請・要望に沿った人材や団体を拾い出し、つなぐことが必要と思っています。この地域には優れた才覚をお持ちの方がお住まいですが、なかなかご自分から名乗り出てくれる方は多くはありません。多能な方々についての情報や協働活動のアイデアなど、皆様のご協力を宜しくお願いします。(裏面へ)



会計 寛和憲 臨機応変に

再生協議会に引続き、会計を担当します。多くの人達の努力のおかげで、設立総会が終わる前から一部の事業がスタート。ゲンコミとして町から独立した組織運営を行うための準備は、細部を除いて完了しました。それぞれの事業が始まると、想定外の課題に直面することが考えられます。役員や各部会の方々の知恵をお借りすれば、臨機応変に対処して行けると思います。各部会事業が成果を上げて地域社会の活性化に貢献することを願い、末永く存続可能な組織となれるよう微力ながら貢献するつもりです。

事務局長 古矢俊雄 事業部会を支援

再生協議会の後を受け、元気なコミュニティ協議会がスタートしました。協議会の活動の中心は6つの事業部会です。事務局は各部会が活動し易いように事務処理、広報業務などを通じて後方面から支援する役割。新体制下では一色、緑が丘、百合が丘自治会を中心とした諸団体、地域の住民皆様のご支援・ご協力を得て共に活力あるコミュニティづくり、魅力ある地域づくりに貢献したいと考えています。



音楽活動部会 三浦憲門 合唱団も音楽祭も自立



ゲンコミのスタートに伴い、音楽活動部会も新たな活動が始まりました。「にのみややまゆり合唱団」は自主的な運営体制を目指し、5月8日の練習開始に当たり総会を開催。団規約、役員体制、年間計画などを決めました。これまで練習会は秋の音楽祭発表会でほぼ終わりでしたが、今年度から年間を通して月2回練習会を実施する予定です。ラディアンでのやまゆり里山音楽祭(10月15日)、二宮町合唱祭(11月3日)への出演が決まっています。このほかの発表の場も模索しつつ活動の場を広げていく予定です。皆さまのご支援、ご協力をよろしく願いいたします。 団員は随時、募集中です。

友情の山部会 小野寺佑介 子どもと小学校を中心に

学校の敷地の小さな山に絶滅危惧種や貴重な山野草がこれだけたくさん根付いているのは本当に珍しく、維持管理の大切さを感じます。最近では、授業で先生方が友情の山を利用する機会や子供達が山を駆け回る姿も良く目にします。子供たちの遊び場、かつ貴重な山野草の宝庫。この両面を持ち合わせた里山のあるべき形を維持するべくこの部会があると認識しています。ゲンコミ発足と同時に、「こども部会」も発足致しました。地域は子供と小学校を中心に元気にしていく事が大切だと思います。それが高齢者世代へと波及し、地域全体の活性化に繋がると信じて活動を広げていきます。



こども部会 木下信一郎 「子育てなら二宮へ」



百合が丘で生まれ育ち、よき少年時代を過ごしました。地域の方々の多様なサポートをいただきながら、多くを学び、吸収し、99階段を文字通り「大人への階段」として登った思い出を持っています。地域の宝である、今を生きるこども達にも、自己形成につながる幼少期を地域と共に過ごしてもらいたいと考え、部会長を引き受けました。将来、町外へ出た後でも、「子育てをするなら二宮へ戻ろう」「ああ、地域で育ててもらったよね」と感じてくれる人を一人でも増やせるように、活動の負担を減らしながら、地域と密着した活動を目指します。多世代で多様な関わりを創り出したいと考えていますので、ご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。